

令和2年4月1日

学校再開時の新型コロナウイルス感染症対策への取り組み

日立メディカルセンター看護専門学校

基本的な感染症対策の実施

1. 感染源を絶つこと
登校前の検温と体調の把握
自分の体調管理を行う
2. 感染経路を絶つこと
手洗い・手指消毒の徹底
マスクを着用し、咳エチケットの徹底
「3密」（密閉・密集・密接）を可能な限り回避する
こまめな換気を行う
3. 抵抗力を高める
免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がけるようにする。

集団感染のリスク回避のための具体的な取り組み

1. 登校前の検温を徹底
 - ・登校後、学校入り口で体温の報告、記録し、記録物は学校で保管する。
 - ・検温を忘れた学生は、学校入り口で測定を行う。
2. 自分で体調管理ができるようにする
 - ・風邪による発熱、咳、のどの痛み等の症状がある場合は、自宅で経過を見る。
 - ・心の健康問題時でも無理をせず自宅学習をする。
 - ・欠席をする時には、学校に連絡をする。欠席扱いとせず、出席扱いとなる。後日欠席届を提出する。
3. 学生が使用する場所（ドアノブ、手すり、スイッチ）の消毒清掃を1日1回以上実施する。24時間換気を行う。
4. 新しい生活様式の実践
 - ・一人ひとりの基本的感染対策
「手洗い」「マスクの着用」「身体的距離の確保」
 - ・手洗いは30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う。登校後、教室に入る前に手洗いをを行う。
 - ・帰宅時は、手だけでなく顔も洗う。できるだけすぐ着替え、シャワーを浴びるようにする。
 - ・マスクは各自準備し、登校時から着用を原則とする。
 - ・人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。

- ・トイレや学生ロッカーでの密を学生自らが避ける。
- ・会話をする際には、可能な限り真正面を避ける。
- ・対面ではなく横並びに座る。
- ・食事時は、対面ではなく横並びに座り、会話を控える。
- ・大皿は避けて、料理は個々に食べるようにする。
- ・公共交通機関の利用時には、混んでいる車両を避ける。
- ・地域の感染状況を把握し、感染が流行している地域への移動は控える。
- ・誰とどこであったかメモをしておく。

学校運営上の工夫

1. 身体的距離の確保
2. 分散登校の工夫
 - ・校内での他学年との接触を少なくする。
 - ・時差登校の検討
3. 各教科目における感染症対策
 - ・教室内での講義の時のグループワークの制限
 - ・実習室での演習は入室前後手洗いをを行い、少人数で行う。学生が使用した器具は1学生の使用毎に消毒清拭を行う。演習時の必要備品はできるだけ個人の物を使用する。演習内容における感染対策はその都度教員から指示をする。
 - ・図書室使用時は、図書室使用感染対策に従う。
4. 新型コロナウイルスに関する正しい知識の指導
5. 心のケア
 - ・健康相談の実施、カウンセリング希望時の対応。
6. 偏見や差別について
 - ・新型コロナウイルス感染症に関する適切な知識を持つことで、偏見や差別につながらない指導
 - ・ネットの情報に惑わされないための指導
7. 休校に伴う1年間での修得すべき単位数の履修の遅れ
 - ・長期休暇中の授業を検討していく。
 - ・遠隔授業の準備をはじめている。今後、学生の自宅でのPC所持とWiFi環境についての現状把握を行い、その現状に即した対応を検討する。
8. 保護者の理解
 - ・必要時は、文書にて通知や説明会の開催を検討していく。
9. 学生支援
 - ・奨学金等の紹介をしていく。

以 上

附則

この対策は、令和2年4月1日より施行する。

この対策は、令和2年5月4日「新しい生活様式」を追加する。